

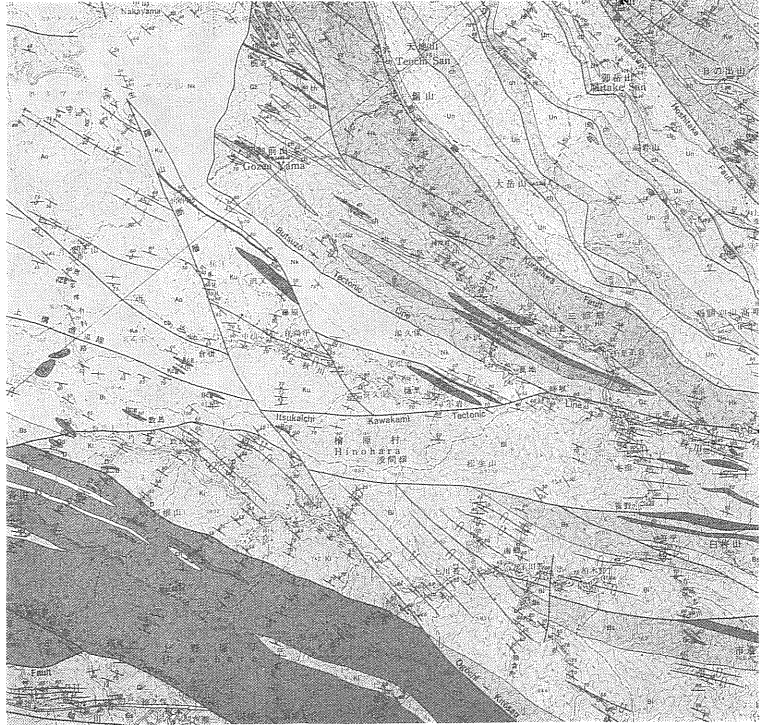
関東山地は 日本の地質学発祥の地であり 明治以来多くの地質学的・古生物学的研究がなされ 地質に興味をもつ人々の格好の巡検地ともなっている。

この関東山地で2枚目の5万分の1地質図幅が 久しぶりに刊行された。それがここで紹介する 五日市図幅である。

五日市図幅地域は 関東山地東南部に位置し そこには秩父累帯の主にジュラ系からなる地層群と 四万十累帯の白亜系の地層群が広く分布している。また東南部には新第三系がわずかに分布する。

本図幅地域の秩父累帯や四万十累帯には 中生代の海底地すべり堆積物が広範に分布している。この海底地すべり堆積物には チャート・石灰岩・塩基性火山岩・砂岩などの岩塊が 泥質基質中に乱雑に含まれ 基質と岩塊の地質時代が異なっている。また 秩父累帯中には 層状珪質泥岩—チャート—珪質泥岩—砂岩と積み重なる 一連のチャート—砕屑岩ユニットが認められる。海底地すべり堆積物やチャート—砕屑岩ユニットは いずれも鳥弧—海溝系のサブダクション帯で陸側に付加された堆積物と考えられている。

この地質図幅では 海底地すべり堆積物中のチャート・塩基性火山岩・石灰岩などの岩塊が 表現可能な限り記入され 凡例も海底地すべり堆積物が正常な地層と区別できるよう工夫されている。また研究報告には 海



底地すべり堆積物の岩塊や基質から報告されている 紡錘虫・コノドント・放射虫化石の産出地点と産出種が付図と表にまとめられている。

五日市図幅内の手ごろな巡検コースとしては 次の3コースをお勧めする。①海底地すべり堆積物は JR御岳駅付近や境付近の多摩川河床のコース ②チャート—砕屑岩ユニットがよく観察できる海沢流域や大岳山から御岳山への登山道コース。また③四万十累帯の小仏層群の巡検コースは 好露出のある盆堀川沿いと南秋川上流の道路沿いである。

関東山地東部の地質については20万分の1地質図幅東京(昭和62年発行)をあわせてご覧になることをお勧めする。

5 万分の 1 地質図幅の新刊

五 日 市

ITSUKAICHI

5 万分の 1 地質図幅 地域地質研究報告

著者 酒井 彰  
発行 工業技術院 地質調査所  
取扱先 東京地学協会 (03) 261-0809 262-1401  
日本産業技術振興協会 (0298) 52-3388  
そのほか全国主要書店  
販売価格 2,400円

地 質 ニ ュ ー ス	第 407 号	7 月 号
昭和63年7月1日	定 価 予 650	千 実 費
編 集	発 行	
発 行 人	林 久 雄	
発 行 所	株 式 会 社 実 業 公 報 社	
	東 京 都 千 代 田 区 九 段 南 4 の 2 の 102	
	Tel. (03)265-0951 (代表)	
	振替口座 東京1-32466	
総発売元	株 式 会 社 実 業 公 報 社	
	出 版 事 業 部	